

本社主催の 自轉車遠乗會

後援——平自轉車商組合
四倉へ炎天強行

- 期日……八月八日(日曜日、舊曆七月一日)
 - 集合……午前七時迄平商業學校々庭
 - 出發……午前八時(花火合圖)
 - 目的地……四倉海岸
 - 餘興……福引、マラソン、相撲其他
 - 會費……五十錢
 - 締切……八月五日
 - 其他……晝食を呈し各商店よりの寄贈品を分興、救護班同行
- 會員券は各自轉車店にあり—

平小鐵道の實測

佐藤技師一行が

十五日間の豫定で開始

平小鐵道も愈々具體化し三日鐵道省建設局佐藤高平技師は技師四名建築工五名と共に平町に來り住吉屋支店に投宿して三十一日から十五日間に亘り平小名濱間の地形その他を實測する事になつた、右鐵道豫算は來る議會に計上し明年度から工事に着手する事にならうが小名濱は築港の完成を俟て平町と共に異常の發展を見るであらう

平消防組が

夏季演習を

四倉海岸にて
平消防組にては來る四日四

青年團主催

谷本博士講演

來る四日に

平町青年團にては磐城智山派同志會と合同し四日午後七時から元郡會議事室にて京都大學講師谷本文學博士の講演會を開催すると

海水浴

シヤレ込む

平町新川町熊谷惣十郎方居住宮城縣生れ磐城炭礦發電所火夫見習小野寺庄助(三〇)

は昨日午前十一時頃發電所電場の傍らにまつた同僚の鎌田町居住網川米吉の衣類の下から現金廿四圓七十錢を窃取し海水浴と洒落込み平署の川上佐藤兩刑事に逮

体育を加味して

趣味多き一日の清遊

本社自轉車遠乗會

本社主催の四倉行自轉車遠乗會が昨年非常な好評を博した處よ、是非本年も盛大に催して貰ひ度いとの希望が讀者諸君より多數ある爲め別項報告の通り來る八日の日曜日を卜して再び大々的に催す事となつた、昨年は會費一圓廿錢の處本年は半額以下の五十錢と爲し多數の参加を觀望すべく目下本社は其の下準備に忙殺されつつあるが、炎熱と戦つて体育を加味する趣味多き一日の清遊を四倉に過ごすは壯又快なりとなし一般からの氣受け非常に好く平町各自轉車店にて販賣しつつある會員券は飛ぶが如き賣れ行を示して居ると



家庭關

アワビ塩むし

アワビの新しい大きなものを選びわらだわしの様なもので静かにみがき殻から

捕さる

磐崎通俗教育

石城郡磐崎村尋常高等小學校にては去る廿九日午前八時から通俗教育會を開いたと

避暑客輸送

上野と平間に
ボギー車増結

昨日から小學校も休暇となり一時に常陸、磐城の海岸への避暑客が激増するの東京鐵道局では從來上野水戸間の旅客列車ボギー車を切落した列車を更に水戸一日から十四日迄水戸平間に延長して旅客を輸送する事になつた

毒もみ捕る

歸りがけに

石城郡内郷村綴磐城炭礦坑夫中村龜次郎(三三)同武田新すのつかぬ様にはがし腸を取りヒレの様なものを切りとつておきます。そうしてなべにアワビを入れかぶさる位の水と酒、鹽をから目に入れて強火にかけ二三日沸騰させて弱火とし約四十分も煮ますとアワビがふつくりとしますから鍋をおろしそのまゝむらしておきま

水桶に落つ

這ひくして

石城郡内郷村大字宮磐城炭礦坑夫瀧口國義の二女瀧口クニ(三三)は去る卅日水桶の處に這ひ出し其中に轉げ落ちて死亡した

昨日の野球戰

五對二にて

平俱樂部勝つ

平俱樂部對磐城野球試合は一日午後三時磐中グラウンドに於て磐炭先攻で開始遂に五點アルハイ對三點を以て磐炭惜敗す、双方メンバ―左の通り
山崎川水田川澤野田
栗山會清山助加織宇留
平俱樂部
(右)二捕(中)一左(三)遊(投)
(左)一三捕(中)遊(投)右左
炭 岐野下橋野地村藤
土 矢宮高小菊澤齊
聲 (一)二三捕(中)遊(投)右左

レコード化した 石城の盆踊り唄

◆今度は大胴を使用し
◆前回は倍する出來榮

野趣満々たる石城の盆踊り唄は先年會て平町の若衆連によつて日蓄の蓄音機に吹き込まれ一般に發賣された事あつたが當時吹き込みにあたりその監督指導に與つた

技師が

外國人での種地方獨特の歌謡に對する理解が至つて少かつた爲かその使用せる太鼓も普通大太鼓を以てせずして小太

鼓を使用したる等這箇郷土藝術上重要な部分を占むる大太鼓の構調が全くなく隨つて全体の旋律が

根本が

なかつた爲多く江湖から迎へられなかつた傾があつたので今回更に再度の吹込みをなし近く發賣さるゝ筈である云ふが今回は前回の失敗に鑑みて實際同様の大胴を使用し而も太鼓の音律をより良くする爲に空氣を乾燥すべく

瓦斯を

焚いた蒸し暑い吹き込み室内で横らよ鉢巻の流汗淋漓と實際踊の場所へ出た氣持で豆腐屋の

平土木監督所

郡内に三ヶ所

平土木監督所での程國道及び縣道の破損箇所につき調査した結果明年度の事業として目下計畫中のものは左の四ヶ所内三ヶ所は石城郡内のものである

小名濱水泳便り

一 磐城高女生から
(第七信) 七月三十日
この日は天候に恵まれ午前午後二度水泳を練習致しました始めの程は通水生を混せて七十名許り成

平町人事

日だけは休まざるを得なかつたのでかへすも残念でなりません。今日の濱風はまことに珍らしい程暖かでした。この水上大會を控へてゐるのでなまけて居られませぬ高々と吊られた多くの帆船は鰹を満載して港に入向つて入り來るでせう夜は蛤のつゆに舌を鳴らめながら床に入る午後九時三十分今のところ宿泊生五十八名

▲出生
▲南町六四 高橋利太郎氏四男正男
▲鎌田町一七 川崎忠葉氏二女文子
▲無名小路 二 須田初次郎氏長男
▲一
▲婚姻
▲番匠町八 安中貞(五九)東白河郡
▲社川村小林カッ(四四)
▲死亡
▲胡摩澤二二〇 岩澤茂三郎(五六)